

進行・再発癌

 術後補助化学療法

 術前補助化学療法

 大量化学療法

 局所療法

 その他(維持療法)

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	アバステン(ベバシズマブ:Bev)	15 mg/kg	div	初回90分 2回目以降 60~90分 3回目以降 30~90分	d1
2					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週間
総コース数	許容できない有害事象の発現時期、またはPD
コース間での休薬の規定	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧Grade2, 3: 降圧剤を開始しgrade2未満になれば再開 ・血栓症/塞栓症(静脈系)Grade3(初回): 回復、あるいは抗凝固療法が終了するまで休薬 ・タンパク尿Grade2,3: Grade1に回復になるまで休薬 ・うっ血性心不全Grade3: Grade1に回復になるまで休薬 ・FN Grade4: grade1に改善するまで休薬 ・創し開Grade1以上: 完全に治癒するまで休薬
減量規定・中止基準	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧Grade4または3で薬剤でコントロール不良 ・肺出血、脳出血Grade2以上、その他の出血Grade3以上 ・消化管穿孔、または裂開時 ・血栓症/塞栓症(静脈系)Grade3以上、再発時 ・血栓症/塞栓症(動脈系)Grade1以上 ・タンパク尿Grade4(ネフローゼ症候群) ・うっ血性心不全Grade4 ・可逆性後白質脳症症候群
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション:なし

患者条件(初回条件)

- ・Bev+化学療法施行後の患者
- ・PS 0-2
- ・主要臓器機能に大きな異常がない
- ・非妊婦、感染症のない患者
- ・MRIにおいて脳出血の所見なし

除外規定

- ・重篤な骨髄抑制のある患者や、感染症を合併している患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
- ・手術実施日より、28日以内の患者
- ・血栓塞栓症合併(既往歴の場合は、慎重投与)
- ・喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者
- ・本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者

実施上の注意点

・アバステン

初回投与は90分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分投与とすることができる。調製時には生食を用い合計約100mLとする。本剤とブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。